

『真光寺川 里親の会』通信

5月号 一通算第86号

2008年5月11日

真光寺川と子どもたち----和光鶴小の体験学習

和光鶴小4年2組はここ数年総合学習の一環として「真光寺川」をテーマに学習してきました。今回は担当されていた松井めぐみ先生に寄稿いただきました。

沢ガニがいっぱい源流探検！！

11月14日、いい天気恵まれ、どろどろびちょびちょの源流探検に出かけました。三方向が山に囲まれた谷戸で足で踏むと、ビチャーっと、水が出てくるところが源流、「真光寺川の最初の一滴」だということが判明しました。子どもたちの足は泥だらけ！その泥から、沢ガニが出てくるわ出てくるわ…！「カニカニカーニバルだね」と表現する子も！全部で、50匹以上はつかまえました。

もう一度、11月26日に11人で行ったところ、数匹しか沢ガニはつかまえられず、そのかわり、ガガンボという見た感じは芋虫のようなものが何匹もいました。その沢ガニとガガンボ類は、指標生物の表で見ると、なんと水質階級はⅠの「きれい」だったことも、子どもたちと調べていく中でわかりました。あのガガンボが…？！と、予想しなかった結果にうれしい驚きがありました。

「真光寺川（の源流）を川柳（清流）にする会発足？！」

つめたくて沢ガニいっぱいきれいだね（もえか） 足元がぐにゃぐにゃしててぬけないよ（もえ） 源流は沢ガニとれてびちょびちょだ（りょう） など クラスみんなで源流探検に行った事を川柳にまとめてみました。子どもたちの川柳を読むと、清流にする会の方の同行や手厚い引率の中で、印象に残る「最初の一滴探し」に出かける事ができたことがわかりました。

全国水生生物調査に挑戦！

真光寺川を清流にする会の山岡さんに、全国水生生物調査について、資料をいただいたのがきっかけで、必要な物をそろえて、下堰親水と開戸親水の2箇所、11月に2日間調査を行いました。下堰親水では水温や流れの速さ、水深、川底の状態、水のおいやにごりなどを調べました。

見つけた生物はザリガニ4匹、小さいシジミ11個、カワヨシノボリ4匹、モツゴ10匹、シマトビケラ20匹、ヒル4匹、マダガスカルカヤツリソウ、じゅず、オオフサモ、カワセミ3羽、その他、石の後ろにくっついている水生昆虫などをピンセットで採集し、教室に持ち帰り、顕微鏡で調べてみました。水生昆虫はとても細かく分類されていて確かな判定

が困難だったのと、調査結果を報告するのに正確な機関に確認しなかったのが、神奈川県内水面試験場の勝呂さんに、探検に行った時にアルコール漬けにしたものを持っていきました。その結果、この地点の水質階級の判定は・・・Ⅱでした！！（Ⅰ～Ⅳのうち、Ⅰが一番きれい）

またトビケラはシマトビケラ、ヒルはシマイシビル、ヤゴはクロイトトンボ、シジミはタイワンシジミの仲間ということがわかりました。「シジミが還ってきた！」と喜び、マシジミもしくはヤマトシジミだとばかり思っていたこともあって、この結果はかなり衝撃的でした。



真光寺川のそばに、水車小屋があった！

水車小屋はあったのか？！というなぞを解き明かすために、探検に出かけた子ども達。真光寺川沿いに、古い屋根のお家を目印に、次々とインタビューしていき、鈴木さんと石川さんに出会いました。この石川さんの家では米をつくのには水車を使っていたそうです。茅葺屋根の家で水車があったという場所は、昔、真光寺川から水を引いていたそうです。2階は養蚕もやっていたというだけあって、蚕座が広げられるスペースがありました。その空間は、真光寺村にタイムスリップしたような場所でした。大八車の車輪を作る仕事をしていたことが、水車を作る技術があったこととつながっているということも、興味深かったです。

砂岩・チャート・化石発見！

TR ネットの方によると 70 万年前の鶴見川（真光寺川も含む）は海の底だったそうです。川から運ばれた土砂が海底に堆積し、その堆積した層が隆起していったということで、堆積岩には砂岩・泥岩・チャートが含まれているとの説明を聞きました。

真光寺川の源流、上流、中流（下堰親水）、下流（開戸親水）の 4 箇所の石を拾いに行った後だったので、視てもらうことができました。すると、源流で拾った石にはチャートと砂岩が、また石を割ってみると貝の化石も見つけることができました。石からも真光寺川の昔について深く知ることができました。



春休み 最後の真光寺川へ また行こうね

真

光寺川から、野鳥、魚、昔の人の暮らしとの関わりなど沢山の事が見えてきます。広袴公園のオナガガモは、はるばるロシアから飛んできます。自然が豊かで、魚や木の実などの餌があるからこそ多くの種類の野鳥が集まってくる…、地域の自然は世界へつながっているのです。メダカが泳ぎ、ぱっと手のひらでホタルが掴まえたという真光寺川。少しずつきれいになっている真光寺川を大事に守っていきたい…。清流にする会の方とともに、体を通して川に親しみ、どっぷりたっぴり学んだ子ども達の中に、そんな思いが川の流れるように、いつまでも流れ続けていくことを願っています。（2007 年度 和光鶴小 4 年 2 組担当 松井めぐみ先生記）

「真光寺川まつり 2008」は 7 月 26 日（土）と決定しました

今年は新たに投網教室を検討中です。楽しい真光寺川まつりにしたいとはりきっています。ぜひ取り上げてほしい楽しいアイデアがありましたらお寄せください。お待ちしております。

『めだか基金』ポスト

郵便振替で能ヶ谷町の淀久子さまと赤城宏さまから、その他基金ポスト、一木会寄付などで 4 月は合計 23,746 円でした。有難うございます。

今回も素晴らしいお便りをいただきました

※ 4 月 23 日、今日もまたカワセミに出会えました。皆様方の努力のたまものと感謝いたしています。……淀久子さま（郵便振替で）

※ 些少ですが、お役に立ててください。……赤城宏さま（郵便振替で）

6 月例会は 8 日（第 2 日曜日） 市民大学「環境講座」も参加します

☆ スケジュール 9:30 開戸親水場 集合

09:30 開戸親水場～神明橋間のオペレーション（クリーン作戦）

11:00 作業終了・水質検査バックテスト

11:30 作戦会議（会場は『いちょう会館』です） 12:30 解散予定

『 <http://www.shinkojigawa.com/> 』 ホームページへご意見感想をお寄せ下さい

『真光寺川 里親の会』会長：山口 拓郎 町田市鶴川 1-10-13 TEL/Fax 042-735-0382

事務局：町田市広袴 3-24-11 山本隆治 TEL/Fax 042-736-0214 e-mail ryuji.yamamoto@beach.ocn.ne.jp